

広島県精神保健福祉士協会研修部会 研修報告

【令和2年度 ケアマネジメント部会・研修部会合同企画研修】

『コロナ禍における権利擁護 ～精神保健福祉士としてできることは何か～』

講 師：原 昌平 氏（相談室ぱどる/ぱどる行政書士事務所）

開 催 日：2021年3月13日（土）

参加者数：24名

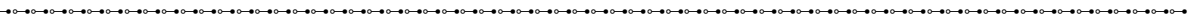
内 容：①講義

②セッション

- ・病院、施設での権利擁護（外出、面会の制限、入退院や治療の制限など）
- ・メンタルヘルス（孤立、虐待、DV、自殺など）
- ・経済的困窮（雇用・営業の悪化、生活保障の手立て）

各セッションでグループによる意見交換を実施

振り返り：原氏より、コロナ禍において精神保健福祉士が直面している権利擁護に関する現状や課題について、原氏の経験や実践と併せて、広島県精神保健福祉士協会にて実施された『新型コロナウイルス感染症への精神保健福祉士としての対応などに関するアンケート』の結果を踏まえて話題提供があった。参加者が日頃のかかわりを振り返り、コロナ禍でも精神保健福祉士として自身が権利擁護に対して取り組むべきこと、できることを主体的に考える機会となった。



【令和3年度研修会】

『令和3年度障害福祉サービス報酬改定

～障害福祉サービスを上手く利用していくために知っておくべきこと～』

講 師：金子 百合子 氏（地域生活支援センターまほろば）

開 催 日：2022年3月5日（土）

参加者数：34名

内 容：①講義

②質疑応答（グループディスカッション）

振り返り：令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の主な改定内容を学ぶことをきっかけとし、PSWとしてどのように制度や報酬改定の内容を捉え、自分達がどのように地域で生活するクライアントに対する日頃の実践、支援に活かしていくか考える機会とした。